第32号
PIWU
2015年4月1日

郵政産業ユニオン TOKYO・NEWS

● 発　　行 ●
郵政産業労働者ユニオン
東京地方本部
発行責任者　　鵜島　一広
〒104－0031
中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局 5F

東京・玉川　全国24職場でスト突入

ゼロ回答から一転　有額回答引き出す

人件費削減による人手不足は、社員には長時間過密労働を、利用者・地域住民にはサービス低下を招き、都内の郵便局は深刻な事態に直面しています。春闘アンケートでも「賃上げ」と同時に「人員増やせ！」が切実な要求となっている中での今年の春闘です。組合は、2月13日に賃上げや増員、均等待遇等を求める要求を提出して交渉を展開。しかし、会社の不誠実な回答に抗議して3月16日、ストライキで回答の前進を求めました。

3月13日の中央交渉で会社は、賃上げ要求に「ゼロ回答」、均等待遇要求には「応じられない」など極めて不誠実な回答を示しました。これに対し、組合は抗議と要求の前進を求めて16日、全国24職場でストライキを決行しました。

各支部は、早朝から門前で会社の不誠実な回答に抗議し、ストライキでたたかう意思を宣伝。東京の拠点となった玉川支部も、早朝から最寄りの駅で「人員不足によるサービス低下と人員増を求める」駅頭宣伝。玉川郵便局前のストライキ突入集会には、都内の組合員や地域の労組など100名の支援を受けてストライキを決行、成功させました。

11時からの本社前集会で、玉川支部書記長は「ある正社員は『もう郵便局は結構です』と3月で職場を去ります。また、長時間過密労働がもとで持病が悪化し長期病休や年休消化などで「欠区」常態。12月・1月期の36協定109時間に対し最高134時間も残業した社員もおり、109時間以上残業した36協定オーバー社員が17人も出た」と本社に人員不足の実態を告発し大幅増員を求めました。

スト当日の夕方、13日のグループ各社のゼロ回答から一転、一定の有額回答を引き出し引き続き交渉を強化。3月19日、第3次回答として以下の回答を引き出しました。

① 月給制契約社員の基本月額1000円引き上げ。時給制契約社員のスキル「B習熟度アリ・なし」ともに資格給を一律10円引き上げ。
② 正社員の一時金年間3・8ケ月、「特別手当」支給。
③ 正社員の基準内賃金平均1000円引き上げ。
④ 育児・介護支援の充実と新設。
⑤ 4月の新規採用で約1800人の正社員増の見込み。

（以上は3月19日現在）

黙っていても変わらない　おいでよ！　郵政ユニオンに

最近、「郵便局もブラック企業では・・・」との声も聞かれます。日本の長時間労働、サービス残業、過労死・過労自殺、ブラック企業が社会問題となってる今、日本の働く非正規社員、正社員みんなとスクラムを組んで賃上げと増員、雇用の安定と正社員化の流れを一緒に築きましょう。